

もっと知りたい!

障がい者の社会参加

今月は区民の方からご応募いただいたテーマをご紹介します!

皆さんは、障がいのある方の社会参加の拠点となる障がい者施設や小規模作業所をご存じですか？
今月は区内の小規模作業所の活動の様子や販売している製品をご紹介します。

テーマ提案者
やまもとひろゆき
山本裕之
さん

本誌区版5月号で、広報さっぽろ豊平区版で取り上げてほしいテーマを募集し、今月は区内在住の山本さんからご応募いただいたテーマを採用させていただきました。「JR札幌駅にあるライラックパセオ福祉コーナーなどで、障がいのある方が作られた製品が販売されていますが、以前から、それらの製品をどのような障がいのある方が、どこで作っているのか、また、私たちの身近なところにもそのような施設や場所があるのか関心を持っていました。広報さっぽろ豊平区版で、広報誌で取り上げるテーマを募集していることを知り、良い機会だと思い応募しました」と話す山本さん。同行記者として、小規模作業所の取材に参加していただきました。



▲取材中の山本さん（左）

夢は
大きく
たいむ
太夢
共同作業所
平岸



▲職業支援員の木村さん（左）

「メンバー一人一人が大きな夢や目標を持ち、生き生きと輝いた生活を送ってほしいという願いから、太夢という名前に決めました。建物の塗装やマンシヨンの清掃、バッグなどの手芸品の製作、コーヒーの焙煎などさまざまな作業を行っています。皆仲が良く、楽しく作業を

している「太夢共同作業所」。現在、19〜45歳のメンバー、25人がさまざまな作業を行い、自立への力を身につけています。職業支援員の木村忠吉さんに作業内容や作業所の雰囲気などについてお伺いしました。



▲紙袋にひもを通す作業

また、「うちにきて顔の表情が明るくなった子が多いです。一般企業に勤めている子もいますが、礼儀正しいと褒められたこともあるんですよ」とうれしそうに話すのは指導員の木村早苗さん。メンバーにとってはお母さんのような存在です。これからもメンバーには本音で接し、共に作業に取り組みながら自立への支援をしていきたいと語ってくれました。

太夢共同作業所

- 所在地 豊平区平岸4条8丁目2-18
(地下鉄南北線平岸駅より徒歩3分)
- 問い合わせ先 ☎823-4375
- 開所時間 午前9時30分～午後4時(月～金曜)
- 販売製品 自家焙煎コーヒー、手芸品など
- 製品販売場所 当作業所のほか、関連作業所「中央太夢」(中央区北5条西18丁目、☎643-4375)でも買うことができます



ぜひお試しください!!

◀自家焙煎コーヒーはおいしいと大評判! コーヒー豆の種類は20種類以上あり、お好みの豆をお選びいただけます。価格は1袋(200g・250g)500円(税込み)。